

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	良く なっている	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・北陸新幹線効果で、宿泊人数が増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・北陸新幹線開業後から、観光、ビジネスなど順調に人出はある。今月は特に9月の大型連休などで人出があり、利用客が多かった。
		通信会社(営業担当)	来客数の動き	・新機種の発売により事前予約の段階から多くの来店客、予約があったため、月末に多く販売することができた。
	やや良く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・当地区に大型ファッションビルが開業し、年内はかなりの人通りが見込める。北陸新幹線との相乗効果がでている。ただそれも一時的で、今後も継続した開発が期待される。
		一般小売店[精肉](店長)	来客数の動き	・9月の大型連休の天気が良かったこと、近隣の大型商業施設の開業、北陸新幹線効果などにより、来客数が非常に伸びた。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・8月下旬にオープンした美術館や図書館に、土日を中心にかなり多くの人出がある。その行き帰りに食事や買物などの消費行動がかなり活発化し、増加してきているというのが現状である。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・8月下旬のプレミアム付商品券の発売は、買い控えしていた人や、秋の新作が欲しいという人の購買意欲が上がっている時期に合っていた。洋服や日用品、バッグなど大きい買物の目的でのプレミアム付商品券の使用が多くみられた。その一方で、プレミアム付商品券を使用したの買物にもかかわらず、数字の伸びは一時的で、例年とほぼ変わらない数字で推移している。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・北陸新幹線効果が今も続いており、値上げによる単価アップがあったにもかかわらず、販売量は昨年並みで推移している。
		コンビニ(店舗管理)	単価の動き	・ここ数か月、客単価の前年比が若干上昇基調で推移している。
		乗用車販売店(役員)	販売量の動き	・新規取扱車種の増加もあって、前年を上回る水準で推移している。第1四半期では前年同様厳しい展開だったが、地元の北陸新幹線効果同様に、年末に向けて堅調に販売環境が維持できるものと予想している。
その他小売[ショッピングセンター]	お客様の様子	・朝晩が涼しくなり、動く物が変わってきた。衣料は秋物商材が順調である。肌寒い日には厚手肌着も動き出し、必需品への反応が良い。住まいの品も寒さのせいで布団や掛けカバーが順調である。高機能フライパンが話題の商品として、高額にもかかわらず良く売れている。寒さで煮物食材の動きが良い。野菜相場高騰が続いているが、特売をうまく利用して工夫しながら買物しているようだ。		
都市型ホテル(役員)	販売量の動き	・宿泊部門は北陸新幹線開業以降、インバウンドとビジネス客の増加により順調に推移している。今後、コンベンション関係により更に増加傾向にある。レストラン部門は地元客の利用が主体で、プレミアム付商品券の特需を期待したがわずかな利用にとどまり、現状維持で推移している。宴会部門は、法人利用が若干の増加傾向にある。		
住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・ここ3か月、受注額は前年比15%前後プラスで推移している。情報量も全体で昨年、一昨年と比べるとそれぞれ順調に伸びている。		
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・アウトレットモールができたり、隣県に複合商業施設ができたりして、新しい商業施設に目が移っているようだ。	
	商店街(代表者)	単価の動き	・猛暑であったせいか、例年より一気に秋が来た感じが強い。それでも日中は半袖でよいほどの気温であり、衣料品は売れ筋がいまひとつ定まらない。単価が下がっているのが特徴で、ザワザワと人出があっても、売上はさほどではないことが多い。	
	一般小売店[事務用品](店員)	販売量の動き	・目標予算が未達成で、先月よりも販売量、仕入量共に落ちている。	
	一般小売店[鮮魚](従業員)	販売量の動き	・9月の大型連休は天候にも恵まれ、大変多くの人出でにぎわった。一部では、春のゴールデンウィークや8月のお盆より人出が多かった。	

百貨店（売場主任）	販売量の動き	・ 8月下旬に発売されたプレミアム付商品券利用により消費の拡大を期待したが、消費者は生活必需品に使用しており、景気全体の底上げにつながっていない。ただし、9月の大型連休により前年に対して祝日が1日多いため、前年及び前々年売上実績は超える見込みである。7～9月と3か月連続で前年売上実績を超える。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・ 9月の大型連休期間中の売上増を見込んでいたが、昨年と変わらない売上になった。景気が良いという印象がない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 今は来客数、客単価ともに前年並みに推移している。好調な商材としてはおでんやおにぎりなどで、セールのときには前年を上回る販売量がある。ただし、セール以外のときには前年を下回り、客が敏感であることが分かる。また、食材も小さくなっていて、仕入単価というか、商品の原価自体が上がってきているのが見て取れる。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 8月と比べて、土日や9月の大型連休の天気が今ひとつであったことから、イベント立地の当店としては若干数字は落ち込んでいるが、ウィークデーの数字に変化はみられない。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ 当地では、大型スーパーやアウトレットモールなどが7～8月にかけて相次いで開業し、その影響が既存店、特に衣料店に大きく出ている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ 北陸新幹線の影響で大変良くなっている人がいるというのが、もっばらの噂であるものの、当店は昨年より少し堅調であるが、際立って良いとはいえない。来店客の愚痴は減っているが、景気が良くなったからではなく口にしないだけのように思う。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・ 9月に入って暑さも収まったので来店客の増加を期待していたが、全く増えない。公共施設でイベントを行った他社に聞いても同様である。
自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・ 半期決算月として集客販促を強めたが、依然として集客の回復に至らず、中型商品の衝動購入も少なく、前年割れの状態である。特に9月の大型連休期間、週末の来客数が少なかった。しかし、プレミアム付商品券は引き続き貢献度が高く、景気対策としては成果が感じられる。
その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・ 今夏の相次ぐ大型商業施設の開業により、客が分散化している様子である。特に土日の来客数が前年を下回っている。この傾向は当分続く見込みである。
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・ 今年の春以降は例年に比べると安定して集客が増えているため、3か月前と比べると景気は安定している。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・ 9月の大型連休は曜日回りが良かったせいか、例年よりフリー客が多かった。その他はあまり変わらない。
一般レストラン（統括）	来客数の動き	・ 来客数に大きな変動が見られず、昨年並みで推移している。北陸新幹線効果も駅周辺以外はほとんど影響がない。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ 9月の大型連休、プレミアム付商品券があり、北陸新幹線開業効果もあった。この3つの大きな要素が追い風となり、人数で前年比140%の入込となった。
観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・ 前年比で、総売上128%、宿泊人数125%、宿泊単価104%と、北陸新幹線開業後は好調に集客できている。また、高単価の棟の販売シェアが全体の約60%となったことで宿泊単価がアップした。
旅行代理店（所長）	販売量の動き	・ 前年契約高と同等の数値になっている。
タクシー運転手	販売量の動き	・ 9月の大型連休中は、登山客が非常に多かった。
通信会社（役員）	販売量の動き	・ 9月は例月に比べ契約獲得数が少なかったが、それ以上に解約数も減少しており、結果的に純増数は例月に比べて順調に推移した。
通信会社（店舗統括）	来客数の動き	・ 8月に比べて9月の来客数は減少している。ただ、一概に下向きとは言い切れないので、しばらく様子見だろうと思う。
通信会社（役員）	販売量の動き	・ 放送サービス、通信サービス共に数か月前からの好調を維持している。

	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・ 2～3か月前と比べると、9月の大型連休などがあり個人客の動きは堅調で、海外客の動きも引き続き好調である。しかし、国内の団体客の動きが鈍く、全体としては2～3か月前と変わらない動きとなっている。	
	競輪場(職員)	販売量の動き	・ 7月下旬から始まったグレードレースの売上減少がまだ尾を引いている。	
	その他レジャー施設(職員)	来客数の動き	・ 9月の大型連休で無料体験会を開催したが反応は鈍く、その後すぐに秋の入会キャンペーンを打っているが、残念ながら反応が少ない。	
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・ 客に消費税の再増税前という動きがあるものの、まだ1年以上先となるため検討時間が長く、決定までに時間を要する人が多い。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・ イベントなどの集客は依然好調であるが、競合が激しく資金内容も厳しいため、契約できる確率が相変わらず低い。安価な価格帯もしくはリフォームにする客も多く、思うような数字が残せていない。	
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・ 契約数は昨年とあまり変わらず、展示会場の来客数もあまり変化が見られない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・ 7～9月にオープンした大型商業施設の影響が原因だと思うが、当商店街の店舗の売上状況は、若干悪くなっているように思う。	
	一般小売店[書籍](従業員)	来客数の動き	・ 9月はここ数か月、また昨年と比べ来客数が非常に落ち込んでいる。大きな要因も思い当たらず、原因がよくわからない。	
	スーパー(店長)	単価の動き	・ 現状の農産物の相場高により、客の買上が非常に厳しくなっているように思う。この影響はしばらく続くように思う。	
	スーパー(統括)	来客数の動き	・ 先般、7～8月に大型店出店が相次いだ中で、既存店ではどうしても週末などの来客数が若干減少しているという状況である。	
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・ 株価の下落が、消費に少しずつブレーキになってきているように感じる。	
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・ 残暑もなく、夏物の処分が進まなかった。	
	乗用車販売店(従業員)	来客数の動き	・ 気候が涼しくなり来客数の増加を見込んでいるが、あまり変わらない。	
	乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・ 9月の販売量は前年同月比78%である。6月の販売量は前年同月比103%だったので、3か月前と比較して下向きである。	
	その他専門店[酒](経営者)	販売量の動き	・ とにかく売上が少なかった。ニッパチとって売上が少ないとされている8月よりもかなり少ない。今月は今まで感じた9月として、こんなに悪かったのは初めてである。びっくりしている。原因は全くわからない。	
	パチンコ店(店員)	来客数の動き	・ 来客数が減少している。滞在時間も減ってきている。	
	美容室(経営者)	来客数の動き	・ ここ2～3か月、来客数、売上とも前年比での落ち込みが大きい。	
悪くなっている	スナック(経営者)	来客数の動き	・ 例年9月は赤字すれすれといったことが多く、今年もまた9月の大型連休の影響で最悪となった。しかし、食事処は忙しいと耳にする。	
企業動向 関連 (北陸)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	精密機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・ 今月の営業からの報告によると、国内大手百貨店の店頭での関連商品の動きが、先月までに比べてようやくやや活発になってきたということである。ただ、平均単価的にはやや下がっているようだということである。
		司法書士	取引先の様子	・ 商業登記関係で、役員増員や会社設立の案件が増えている。住宅地の取引も堅調である。
変わらない	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ スポーツ関連商品については輸出を中心に堅調であるが、国内市場関係については婦人ファッション分野のみならず、ユニフォーム関連でも勢いがなく、先行き不透明な状態が続いている。	
	繊維工業(経営者)	取引先の様子	・ 来年の婦人衣料、スポーツ衣料については、既に来春夏物の生産インの時期でありながら、受注状況は非常に慎重な状態で推移している。	
	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・ 当社の受注状況は、ここ数か月大きく変わらず推移している。	

	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧米、国内市場とも安定して受注出来ている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月も当社は公共工事をそれぞれ受注出来ているが、全体の発注量は減少している。特に県工事において減少が著しく、業者間の受注の多寡が顕著になっている。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・北陸3県では一部に安値受注の業者が見受けられ、受注価格競争激化の兆候が起きている。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・小売店の出店案件などの融資相談も依然としてあるが、その件数なども頭打ち感がある。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者から聞いた話では、前回と同じく半数は変わらない動きだが、半数は動きがないようであった。	
やや悪くなっている	食料品製造業（役員）	それ以外	・受注量については逡増傾向にあるものの、輸入原材料の受け入れ価格が上がってきており、収益性の悪化が徐々に大きくなってきている。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・ここ最近の円安により、原材料の高騰が商品の価格に反映されて消費が落ち込み、それに伴い物量の動きが悪くなっている。	
	金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・建設関係の工事受注が少ないとの声が多い。唯一良いのは、観光関係の業界のみである。	
	税理士（所長）	取引先の様子	・製造業関係で明暗が分かれている。中国向けの工作機械や大型のプラント案件について、中国の景気見通しが悪いせいか、契約が延期しているものが目立ってきている。そうしたことから、8月あたりから下請企業では仕事が空いてしまっているという状態が目立ってきている。それ以外では、県内では医薬品関係の設備投資は好調であるという感じがする。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	-	-	-	
良くなっている	-	-	-	
(北陸)	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月と比較して、ほとんどの産業で求人数が増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比べて、新規求人数が16.1%上昇している。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・依然、登録者数が伸びず、需要案件の人材手配が厳しい。マッチングできない状況が続く。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・ここ最近、単発から短期間での仕事が昨年度と比べて増えてきている。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・1回発行あたりの求人件数にあまり変動がない。
		新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・9月の求人広告売上は、前年同月の8割である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は昨年度とほぼ同様の水準となっており、この状況は3か月前と変わらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造部門での人手不足から求人数が増えたが、人材が不足している。CAD設計部門も同様だがその技術者が少ない。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・8月から大手企業の就職内々定が出て、ITや製造業を中心に中小企業からの追加求人が出てきた。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・求人広告について、今年度に入って比較的堅調に推移していたが、9月は前年同月比で大きく金額を落とした。内容を見ると、今年のこれまでの傾向であった求人内容の質の改善が止まった感じがある。パートやアルバイトの求人数は大きく変わらないものの、正社員求人や自由広告枠の本数がかなり落ちている。
悪くなっている	-	-	-	